

ご存知ですか? 「ヤングケアラー」のこと

最近テレビ等でも取り上げられていますが、今「ヤングケアラー」が増えています。これは核家族が増えた等社会の変化も大きく関係していて、日本だけの問題ではないようです。

まず「ヤングケアラー」とは?

家族にケアを要する人がいる場合に、大人が担うようなケア責任を引き受け、家族の世話、介護、感情面のサポートなどを行っている18歳未満の子どものことです。

◆ヤングケアラーの現状

小学生や中学生、高校生など本来は大人から守られるべき子どもが、大人に代わって世話や介護が必要な家族の誰かのケアをしています。

ただしそれは各々の家庭の事情があって、そこが虐待とは大きく違う点です。

例) 早朝から仕事に出掛ける両親に代わって、弟や妹に朝食を食べさせ送り出した後、後片付けや洗濯を済ませて自身中学校に登校する。そのため遅刻も多かった。同級生にもこんな家庭の事情は話せないし、先生にも相談したことがない。高校の進学先も家の事情を考慮して、ランクを下げ家から通える近くの高校にした。



ヤングケアラーを見守る心構えとして、以下のような配慮が必要です。

- ♣ 挨拶程度から始め、少しずつ親しく話せるようになること。
- ♣ 話せるようになって、相手の状況を聞き出すようなことはせずに、相手が自分から悩みを相談してくれるようになってから、具体的な支援の方法を考える。

〈研修に参加しての感想〉

ヤングケアラー支援は、ケアラーがおかれている状況を解決してあげることだと思っていましたが全く違っていました。ケアラーにはいろいろの家庭事情があり、ケアラー自身が現状をどのように考えているのかもわからない段階で、上から目線の一方的な支援は駄目だということです。

今回の講習で印象に残ったこと。

それは私たちが出来るヤングケアラー支援は、何気ない言葉や態度で少しでもケアラーの心の負担を除いてやること。その後ケアラー自身から何かを相談されたら、具体的な解決方法を考えるということ。

地域の中で私たち大人が、そんな子どもたちを見守り支えてあげられるといいですね!



編集後記

2024年、新しい年を迎え健康で平和な一年となりますようにお祈り申し上げます。誰もが元旦をお祝いした夕方の能登半島地震。布佐地域でも大きく長い横揺れを感じました。被災地の実情が報道されるたびに、被災された方々が安心した生活に戻れることを願わずにはられません。

今年は自治会を始め地域の行事等の広がりが見られる一年となりそうです。3月に予定されている「布佐地区社協まつり」をその一歩として盛り上げられるといいですね。(K. A.)

2024年 2月14日発行

布佐地区社会福祉協議会 広報・研修部会

布佐地区社協だより 第81号



事務局 我孫子市布佐2972-1 (近隣センターふさの風内)
TEL/FAX 7189-2119 メール: fusa@abiko-shakyo.com
事務所開所日 月~金 9:00~16:00 (第2・4水曜休)

布佐地区社協まつり



入場無料

日時: 3月2日(土) 12:45開場
場所: 近隣センターふさの風
舞台: 劇団わかば (食わず女房) (13:00~)
落語、津軽三味線 (13:40~)

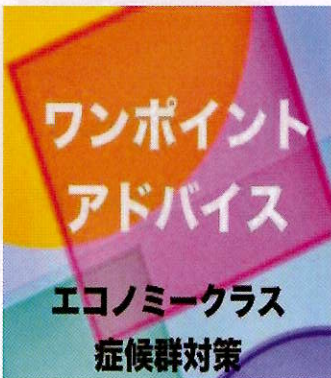
日時: 3月9日(土) 12:45開場
場所: 布佐南近隣センター
舞台: 劇団わかば (食わず女房) (13:00~)
落語、津軽三味線 (13:40~)

※福祉施設物品販売
焼きそば・チョコレート・野菜・クッキー・手作り品 等

全町合同防災訓練 4年ぶりに開催



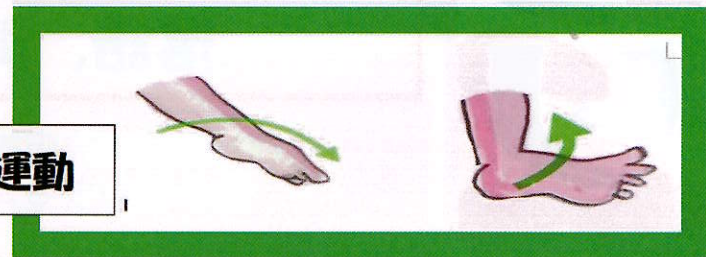
4年ぶりの全町合同防災訓練が10月に布佐小学校を会場に行われました。開催にむけて住民と布佐地区社協やまち協をはじめ各自治会、消防団、布佐小・中学校、各シニア会など、町内25団体代表による実行委員会が開かれて、防災訓練にむけた協議を重ねてきました。当日はボランティアと合わせて324名が参加しました。朝8時の自治会毎の安否確認訓練から始まり、会場の布佐小体育館に集合しその後は、消火訓練や救急救命訓練、119番の通報訓練、自作防災用品展示等の8つのコーナーを順番に回りました。また今回も布佐中学生徒有志がボランティアとして、参加者誘導、会場設営その他を積極的に行ってくれ頼もしい姿をみせてくれました。参加者アンケートでは「避難訓練が役立った」「今後も避難訓練は必要だ」の回答が多かったですが、同時に「会場が遠かった」「高齢者の避難に配慮を」など、今後の改善に向けた意見も寄せられました。



避難所生活、車中泊などで気をつけて欲しいこと！

長時間同じ姿勢を取った後に起こりやすいとされる「エコノミー症候群」万が一の事態を防ぐため、病気の予防法を知っておきましょう。

予防するための運動



「令和5年度委員研修報告」

～ 水戸藩最後の藩主であった徳川昭武が造った別邸 戸定邸へ ～

松戸愛・戸定邸愛にあふれたボランティアガイドさんの楽しい説明を聞きながら、9棟が廊下で結ばれた迷路のような邸内を一巡り。

“国指定名勝”にもなっている庭園の佇まいに、また木々が色づく季節に再訪したいとの思いを強くしました。



～ 明日は我が身!! 西部防災センター見学 ～



午後からは西部防災センターへ。インストラクターによる防災体験ツアー形式で、震度5の地震、消火器を使っでの消火、煙の中での避難、119番通報などを疑似体験。

年明けの能登半島地震の報道が続く中での防災体験でしたので、皆さん真剣な面持ちで取り組んでいました。

施設のコンセプトである「あなたを守るのはあなた自身」という言葉を再認識した、有意義な研修となりました。



令和6年能登半島地震に係る災害義援金受付中！



1月1日の能登半島地震を受けて、布佐地区社協でも災害義援金を受け付けています。

皆様から寄せられた義援金は、全国共同募金会を通じて確実に被災者に届けられます。税控除の証明書も発行できますので、お問い合わせください。

能登半島地震被災者 ガンバレ!!

毎週1回の買い物が楽しみ！

～ 移動スーパー（カスミ）のその後 ～

我孫子市で移動スーパーが始まって1年半。

布佐地区には月・木曜日の週2回、指定された販売場所に移動スーパーがやってきます。

到着すると手際良くお店がオープンし、利用者の皆さんがお目当ての商品を次々と買い物かごに入れていきます。販売スタッフの会話から暖かく優しい気持ちの伝わり合いが感じられました。お近くの方は是非、一度移動スーパーの買い物体験をしてみませんか？

